

川崎支部情報

中央
本部横浜
地本

(2011年度第1四半期決算と2023年度第1四半期決算の比較 本部緑の風49号 2023/11/11 より引用)

2011年と2023年の比較

年末手当第2回交渉で会社から「第1四半期決算での本業の力を示す営業利益は1550億円であり、直近で見ていくと東日本大震災の時と同程度である」と回答がありました。そして、第3回交渉で2.65ヶ月+5万円(約2.8ヶ月)と回答があり、東日本大震災時(2011年)の年末手当とほぼ同様な回答がされました。しかし、2011年と2023年を比較すると全く違うという事がわかりました。

	2011年	2023年
営業収益	8841億円	9573億円
(運輸収入)	7783億円	8286億円
営業費用	7164億円	8023億円
(人件費)	2329億円	1987億円
営業利益	1676億円	1550億円
一人当たりの売り上げ	3123万円	約4300万円
社員数	58200人	44800人
平均基準賃金	334,212円	342,365円
年末手当回答	2.78ヶ月	2.65か月+5万円 (約2.8か月)
交渉の主な議論	<ul style="list-style-type: none"> ・未曾有の厳しい状況 ・どこを見ても明るい材料がない ・どこで回復するかも全く見えない 	<ul style="list-style-type: none"> ・9割程度まで回復 ・収入はオンライン ・インバウンドは好調 ・コスト削減も目標達成見込み
年末手当の原資	約542億円	約429億円

売り上げ
1100万円以上
上昇

社員数
13400人
減少

原資
113億円
減少

売り上げは上昇、社員数・原資は減少!!同じ支給水準は納得できない!!

東日本大震災のあった2011年度は、「ボーナス年間5.38ヶ月、基準内賃金334,212円、配当110円」でした。

コロナ禍から回復を見せる2023年度は、「ボーナス年間5.45ヶ月、基準内賃金335,519円、配当125円」でございます。

物価上昇&生産性向上にふさわしい新賃金を求めます!